

医療の質について

副院長 兼 脳神経外科部長
兼 医療の質向上対策委員会委員長

伊藤 淳樹



医療の質について考えてみたいと思います。

医療の質とは狭義には提供する診療や治療の質のことですが、さらに広くとらえ医療が望ましい健康状態をもたらす可能性の高さ、その時々々の専門知識に合致している度合と考えます。言い換えればエビデンス（「科学的根拠」）に基づいた標準医療がどのくらい行われているかが医療の質で問われます。そのためエビデンスに基づいた診療ガイドラインを参考にし、それに準拠する治療の実践が必要になります。

現在、医療の質の向上と効率化を目指して、医療の質を評価する仕組みが進みつつあります。標準医療がどの程度実際行われているかを調べ、その度合を数値化することです。当院も平成22年から各科から指標を提出してもらい、指数として当院ホームページに掲載してきました。昨年に厚生労働省医療の質・公表等推進事業で採択された日本病院会 QIプロジェクト(QI: Quality Indicator、医療の質指標)に参加、本年からは全国自治体病院協議会 医療の質評価プロジェクトに参加しています。

たとえば看護ケアの指標の一つとして褥瘡(床ずれ)発生率(入院中に褥瘡が新規に発生した患者数を入院患者のべ患者数で割った数字)を当院の一般病棟で見ると平成25年0.09%、平成26年度0.07%(全国平均:0.11%)と改善してきています。褥瘡

は一旦できると治りにくく、生活の質低下につながるために発生させない予防が大切といわれています。局所管理だけでなく全身管理が必要な疾患で褥瘡の予防・管理に対して医師、認定看護師、薬剤師、栄養士、理学療法士などの褥瘡対策チームによる褥瘡回診、栄養サポートチームによる栄養管理、マットレスなど褥瘡予防具の採用などの当院での取組が発生率の改善に寄与したと考えられます。当院のQI委員会では病院全体に関する指標、安全性や効率性、また抗菌薬の適正使用、救急体制や感染について指標を設定したうえで指数化し、課題を抽出し、改善に向けた取組を始めています。

指標に影響を与える要因は患者さんの病気の種類、重症度、年齢など様々あり、他の病院と厳密に比較することは困難です。指標算出の重要性はむしろ毎年指標を測定することです。当院での経年変化をとらえ、指標を改善する取組を病院全体で継続的に実践することだと考えています。

また、当院では毎年患者満足度調査を実施し、意見投書箱に占める苦情の内容分析もしています。医療の質の評価としては医療提供側の価値判断のみでは十分ではありません。患者さんの満足度を見ることは直接的な評価の指標であり、投書箱のご意見に対する対策を立てていくことも医療の質の向上につながると思っています。また連携している地域の病院にもアンケート調査を実施し、それらを医療の質の指標として評価し患者満足・連携先満足度の改善をめざしていきたいと考えています。

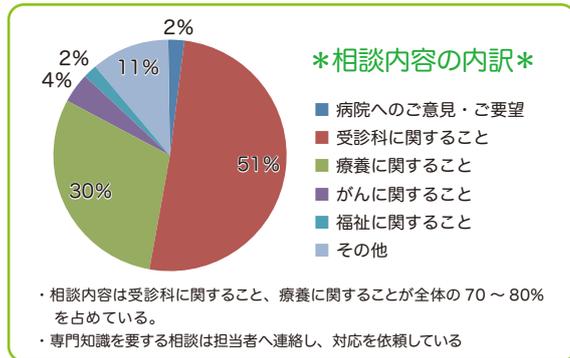
今後とも当院の基本理念である「安全で、やさしく、あたたかい医療」を、医療の質で支えていきたいと思えます。

平成26年4月より、正面玄関フロア 正面階段下 連携コーナー横において「かかりつけ医紹介センター」を開設しました。

病診連携の推進を目的とし、患者さんへかかりつけ医の紹介をしています。

当初は「自分は県病院しか受診したことがない」となかなか受け入れ難い患者さんもみえました。しかし、各診療科担当医の転勤を機に紹介となるケースや、担当医の度重なる説明で同意していただいたケースなどあり、患者さんの相談に対して地道にコツコツと紹介をしています。

在席時、「親が認知症のようだが、どうすればいいの」「がんと診断されたが、これからの治療に費用はどれくらいかかるだろうか」など不安を抱えた患者さんから声をかけられることが多くなり、誰



もが相談できる窓口業務の設置ができないものと提案し、平成27年1月下旬「よろず相談・かかりつけ医紹介センター」と改名しました。

今後も患者さんと家族の方が安心して療養できる場となるよう援助してまいりますので、お気軽にご相談下さい。

医療相談室をご存知でしょうか？

病气や怪我をすると、健康なときは考えもしなかった心配事があるいろいろな生じてきます。こんな時、「医療相談室」には、患者さんや家族の方々のお力になれるよう、社会福祉の相談員である医療ソーシャルワーカーと看護師がおります。

患者さんにかかわる経済的・社会的な悩みの相談を受け、問題解決のお手伝いをいたします。また、地域の医療・保健・福祉機関との連携のもと、社会復帰や在宅療養への準備なども一緒に考え、必要なお手伝いをいたします。

相談内容についての秘密は守ります。相談は無料です。どんな小さな悩みや疑問でも一人で悩まず、相談室を訪ねてみてください。事前に電話で相談時間を予約していただけると幸いです。

リハビリや長期の入院ができる病院を知りたい

介護施設について知りたい

緩和ケア病棟に関する相談

病気に伴った就労や職場復帰に不安がある

誰に相談したらいいかわからない

身体障害者手帳や障害年金などの各種社会福祉制度を知りたい

退院を勧められているが、退院後の生活に不安がある

医療費の支払いが心配

介護保険について知りたい

訪問医や訪問看護、ケアマネジャーはどのように探せばいいかわからない

退院後の自宅での医療処置や介護方法はどうか不安がある

受付時間 月～金曜日(祝日を除く) 9時から16時

連絡先 ☎ 0572(22)5311 (内線 2225・2226)



血管外科便り

「足が疲れやすい人は血管外科へ」

「下肢静脈瘤の日帰り手術も始めました」

当院の血管外科は約四年の間、週一回の非常勤診療でしたが、今年(平成27年)4月から常勤となり診療体制が強化されました。以前はせつかく当院を受診しても、名古屋に行かないと治療できない、といったことがありましたが、これからは多治見で治療ができます。むしろ名古屋から多治見まで来なくなるような血管外科にしたいと思っています。

◎下肢静脈瘤

のぼると足がだるくなる、そんな時には血管外科を受診してください。



すねやふくらはぎの静脈がふくらんでぼこぼこしたり、皮膚が黒ずんだりする病気で、見た目の変化だけで何も感じないことも多いですが、足が重く感じたり、立ち仕事後にだるい、張る、痛いと感じることもあります。当院では最新の機器を導入しました。日帰り手術で症状が劇的に改善し喜んでもらえることが多いので迷っているのならばぜひ受診してください。

◎腹部大動脈瘤

おへその辺りを押さえると、ふくらんだ動脈がどんとと触れます。痛くもかゆくもありませんが、破裂すると死に至る危険な病気です。当科ではこの手術を特に得意としています。

◎閉塞性動脈硬化症

足に行く動脈が狭くなってしまう、足が疲れやすくなったり、ひどい時には壊死(えし)に陥り切断せざるを得なくなったりする病気です。「歩けないのは年のせい」と思っているのもこの病気が隠れていることはよくあります。長い距離が歩けない、階段を

◎その他

透析シャントトラブル、糖尿病壊疽、リンパ浮腫なども血管外科が得意とする病気です。血管の病気で困っている人を少しでも手助けできるように日々頑張っていますので、これからも県病院血管外科をよろしく願います。

研修医紹介コーナー

当院は、厚生労働省の審査を受け指定を受けた臨床研修病院として、大学卒業後に医師免許を取得した医師・歯科医師(研修医)が基本的な手技、知識を身につけるため、2年間の臨床研修医の受け入れを行っています。

研修期間、いたずらに医療技術を取得することのみを目を奪われることなく、「患者さんの立場に立つて」医療に当

たる能力を身につける事も重要な目標とし、日々切磋琢磨しながら研修しています。また、研修修了後、専攻診療科の認定医・専門医の資格を得ることを想定した3年目以降の後期臨床研修も行っています。

平成27年度現在、医科18名、歯科2名の臨床研修医がいます。よろしく願います。

2年目



眞井 嵩之



河合 美貴



廣瀬 友矩



浦壁 憲司



安田 昌広



柘植 志織



大平 芽実



早稲田 祐士



赤座 賢



春日井 貴久

1年目



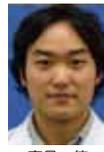
大岩 拓矢



山下 雄太



高見 徳人



高見 一徳



近藤 佑亮



加藤 彰寿



鈴木 啓太



木村 隼大



東條 達也



田口 潤

第2期中期計画(平成27年度～平成31年度)

当院は、平成22年度の地方独立行政法人設立以降、県民が身近な地域でいつでも安心して良質な医療を享受できるように、地域の基幹病院として地域の医療水準の向上及び住民の健康と福祉の増進に取り組んできました。

設立から平成26年度までの第1期中期計画期間においては、職員一丸となって診療機能の充実・強化及び経営改善を図り、目標としてきた質の高い医療サービスの効果的な提供に努め、7対1看護体制、高精度放射線治療システムの導入、設立初年度から経常収支比率100%の達成など着実な成果をあげることができました。

平成27年度から平成31年度までの5年間を第2期中期計画期間とし、医療制度や社会経済情勢の変化に迅速に対応するとともに、第1期中期計画期間の経営面・運営面における実績等を踏まえ、さらなる自律性・機動性・透明性の高い病院運営に努め、東濃地域の中核的な病院として地域全体の医療水準の向上を図り、県民の健康の確保及び増進に寄与していくことを進めてまいります。

【主な計画内容】

※詳細はホームページをご覧ください

1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するための取組

(1) 診療事業

東濃地域の基幹病院として、近隣の医療機関との役割分担・連携の下、高度・先進医療、急性期医療、政策医療等の県民が必要とする医療を提供する。

○より質の高い医療の提供

- ・ 高度医療機器の計画的な更新・整備
- ・ 医師、看護師、コメディカル等の医療従事者の確保

・ 専門性を発揮したチーム医療の推進
ほか

○患者・住民サービスの向上

- ・ 院内環境の快適性の向上
- ・ 医療に関する相談体制の充実
- ・ 患者中心の医療の提供
- ・ インフォームドコンセントの徹底、セカンドオピニオンの推進

○診療体制の充実

- ・ 患者動向や医療需要の変化に即した診療体制の整備・充実
- ・ 多様な専門職の積極的な活用
- 近隣の医療機関等との役割分担及び連携
- ・ 近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化
- ・ 地域の介護・福祉機関など退院後の療養に関する連携強化

○重点的に取り組む医療

- ・ 救命救急医療
- ・ 周産期医療
- ・ がん医療
- ・ 精神科医療・感染症医療
- ・ 緩和ケア

(2) 調査研究事業

当院で提供する医療の質の向上及び県内の医療水準の向上を図るための調査及び研究を行う。

(3) 教育研修事業

医療の高度化・多様化に対応できるように、医師・看護師・コメディカルを目指す学生及び救急救命士に対する教育、臨床研修医の受入れなど、地域の医療従事者への教育及び研修を実施する。

(4) 地域支援事業

地域の医療機関から信頼され、必要とされる病院となるよう、地域への支援を行う。

○ 地域医療への支援

○ 社会的な要請への協力

○ 保健医療情報の提供・発信

(5) 災害等発生時における医療救護

災害等発生時において、医療救護活動の拠点機能を担うとともに、医療スタッフや災害派遣医療チームの派遣等の医療救護を行う。

2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組

(1) 効率的な業務運営体制の確立

自律性・機動性・効率性の高い病院運営を行うための業務運営体制を確立するとともに、地方独立行政法人制度の特徴を最大限に生かし、業務運営の改善及び効率化に努める。

○ 効果的な組織体制の確立

○ 診療体制及び人員配置の弾力的運用

○ 人事評価システムの構築

○ 事務部門の専門性の向上

○ コンプライアンス法令や倫理の遵守の徹底

(2) 適切な情報管理

地方独立行政法人制度の特徴を生かした業務内容の見直しや効率化を通じた収支の改善

東濃地域の基幹病院として、住民に
対し高度で先進的な医療及び急性期医療が提供できるよう新中央診療棟の建設に向けての取組を進める。

て、収支の改善を図る。

○ 多様な契約手法の導入

○ 収入の確保

○ 費用の削減

3 予算(人件費の見積含む)、収支計画及び資金計画

経常収支比率100%以上及び職員給与費対医療収益比率を50%以下とすることを旨とする。

(略)

9 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項

(1) 職員の就労環境の向上

(2) 岐阜県及び他の地方独立行政法人との連携に関する事項

(3) 施設・医療機器の整備に関する事項

・ 医療機器の計画的な更新・整備

・ 質の高い医療をするための新中央診療棟の整備

収支計画(平成27年度～平成31年度)

(単位:百万円)

区分	金額
収益の部	87,322
営業収益	86,939
医療収益	82,029
運営費負担金収益	4,530
資産見返負債戻入	30
その他営業収益	350
営業外収益	383
運営費負担金収益	209
その他営業外収益	174
臨時利益	0
費用の部	85,654
営業費用	83,710
医療費用	81,632
給与費	39,539
材料費	22,657
経費	12,718
減価償却費	6,248
研究研修費	470
一般管理費	2,078
給与費	1,305
減価償却費	126
経費	647
営業外費用	1,894
臨時損失	0
予備費	50
純利益	1,668
目的積立金取崩額	0
総利益	1,668

薬剤部から

皆様、薬についてわからないことや心配事、困っていることはありませんか？

病院内では、様々なところで医薬品が使用されています。薬剤部では、安全で安心な薬物療法が行われるために、医薬品に関するいろいろな業務を行っています。最も基本的な業務として、処方薬の調剤と供給を行っています。患者さんが使用される内服薬、外用薬や注射薬は、検査結果等に基づいて医師がオーダーした処方箋に従い、薬剤部でもその有効性と安全性を十分に確認してから調剤し病棟に届けていきます。その中でも、注射薬は直接血液内に入る薬剤であることから、混合調製するときに異物や細菌等が混入しないように、特に厳重な注意を払って調剤しています。また、患者さんに有効な医薬品が届けられるように、すべての医薬品の在庫や品質の管理も薬剤部で行っています。正しい薬剤が供給できても、その人に合わせた適切な使用が行われないと、十分な効果が得られなかったり副作用が発現したりしてしまいます。そのため、病棟では薬剤師



が患者さんに医薬品の説明をしたり、効果や副作用のチェックをしながら、処方薬と薬物療法に関する打ち合わせを行っています。

安全で安心な薬物療法が行われるために、薬剤部から皆様にお願ひがあります。過去に食物や医薬品によるアレルギー症状はありませんでしたか。医薬品による副作用を経験したことはありませんか。他の病院や（歯科）医院から処方されている医薬品、自分で購入した市販薬や健康食品などを摂っていませんか。適切な薬物療法が行われるためには、患者さんからの情報提供も必要不可欠です。必ず、外来持参薬センターや病棟の薬剤師に相談して下さい。医薬品に係るすべての安心と安全を提供できるように、スタッフ一同努力いたしますので、薬に係ることは気軽に薬剤師にご相談下さい。

看護部から

4月から40名の新人が、配属された部署で頑張っています。師長をはじめスタッフ全員が、来年の3月までは成長していくための大切な1年間ととらえて、新人看護師の成長を支えています。患者さん、そして家族の方にもいろいろと教えていただくことがあると思います。よろしくお願いします。

今年度の新人たちです



ガイダンスの様子です。
多治見病院看護部のキャッチフレーズは、ホップ！ステップ！自分の夢に！この日も多くの学生さんが、自分の将来や夢を話してくれました。

少子高齢化や医療の高度化・専門化が進む中、この地域の皆様に質の高い看護サービスを提供していくために、当院では看護師の確保対策に積極的に取り組んでいます。結婚や出産を機に退職してしまい、その後も勤めていない看護師（潜在看護師）の職場復帰支援をはじめ、看護学生には修学資金貸付制度の案内やインターンシップによる職場体験、就職ガイダンスや学校訪問、オープンハウスピタルなどの機会を通じ、当院を広くPRしています。

外来診療表

平成27年7月1日現在

診療科目	初診・再診別	月	火	水	木	金	
内科	初診	佐野 塚本 水島 奥村	岩崎 佐野	加地 尾関貴紀 鈴木 塚本 福定	石原 晃		
		再診	奥村 水島 安部 岩崎 佐野	加地 尾関貴紀 鈴木 塚本 福定	石原 晃		
		再診	— — — — —	— — — — —	— — — — —		
	初・再診	循環器内科	日比野 近藤泰 矢島 近藤泰 矢島	堀部秀 山本博 秋田 日比野 上山	吉岡 — 堀部秀 重田 山瀬	ハースメーカー 外来 (午後)	
			膠原病・リウマチ	— ※横田 — ※橋本 —	— — — — —	— — — — —	
			腎臓	— 三村 ※尾関貴紀 (午前)	後藤 PD外来 (午後)		
		血液	柘植 立 岩井 佐橋 足立 岩井				
		初診	内分泌内科	大川 — 杉浦 — 堀部亮	杉浦 杉浦 堀部亮 ※近藤正 大川	— 大川 — 堀部亮 —	
				再診	— 大川 — 堀部亮 —		
	初診	呼吸器内科	松浦 市川 矢口 志津 今井	井上徳 禁煙外来 (午後) 小林 (午前2,4週)	志津 井上徳 松浦 矢口 今井 志津 今井 矢口 小林 今井		
			再診	— — — — —	— — — — —		
	神経内科	初診	毛利 青木 岸本 毛利 高木	青木 高木 青木 高木 青木	岸本 高木 岸本 毛利		
		再診	— — — — —	— — — — —	— — — — —		
		再診	— — — — —	— — — — —	— — — — —		
	整形外科	紹介初診	中島 高津 新井 高津 中島	大野祐 酒井 大野徹 酒井 安藤	大野徹 大野徹 酒井 新井 高津	安藤 大野祐 中島 安藤 新井	— — — — ※能登
初診		大野祐 酒井 大野徹 酒井 安藤	大野徹 大野徹 酒井 新井 高津	安藤 大野祐 中島 安藤 新井	— — — — ※能登		
再診		— — — — —	— — — — —	— — — — —	— — — — —		
再診		— — — — —	— — — — —	— — — — —	— — — — —		
形成外科	初診・再診	森 代務医 風戸 寺嶋 森 風戸					
眼科	初診・再診	大岩 — 大岩 大岩 大岩	長坂 長坂 — 長坂 長坂				
	再診	浅野 林真 柳 林真 宮内 林真 浅野 宮内 林真	浅野 林真 柳 林真 浅野 宮内 林真				
放射線治療科	初診	浅野 林真 柳 林真 宮内 林真 浅野 宮内 林真	浅野 林真 柳 林真 浅野 宮内 林真				
放射線診断科	肺生検	— — — — —	古池 (午後)				

診療科目	初診・再診別	月	火	水	木	金	
精神科	初診	栗林 マイケル 百々 高田 水野					
	再診	マイケル 水野 高田 マイケル 高田	— — 栗林 水野 百々				
小児科	初診・再診	石田敦 荒川 石田敦 荒川 谷口	長柄 谷口 向井 三沢 長柄	向井 三沢 伊藤彰 — 伊藤彰			
		午 特別外来	[心臓] 荒川 [心臓] 荒川 [内臓] 石田敦 [小児] 谷口	[再診] ※中野	[神経1,3週] ※濱口		
		新生児内科	[検査] 向井 [心臓] 荒川 [内臓] 石田敦 [小児] 谷口	[予防接種] 向井 [検診等第2・4週] 伊藤彰 [アレルギー] 三沢 [検診等第2・4週] 長柄	[乳児検診] 荒川 谷口 (第1・3週) 石田 三沢 (第2・4週)		
	初・再診	外科・消化器外科	小西 鎗田 田中 山中 梶川	浅田 伊藤雄 岡野	山中 原田 小西 梶川 鎗田	伊藤雄 岡野	
			再診	— 田中 野村 — —	— 田中 野村 — —	— 田中 野村 — —	
	外科	初・再診	乳腺 内分泌外科	山中 大野元 田中 伊藤雄 岡野	伊藤雄 田中 伊藤雄 岡野	山中 (再診) ※宮嶋 (午後初診)	大野元 岡野
心臓血管外科				— — 八神 八神	— — 藤田 藤田	— — 藤田 藤田	
血管外科		— — 藤田 藤田	— — 藤田 藤田	— — 藤田 藤田			
呼吸器外科		伊藤正 — — 伊藤正					
脳神経外科	初診・再診	代務医 伊藤淳 椎名 杉田川口 伊藤淳 伊藤英	担当医				
麻酔科	初診・再診	山崎・稲垣・衣笠・中井・井上雅・鷲塚・竹原・中島					
皮膚科	初診・再診	高間 高間 ※日置 高間 高間	牧田 牧田 牧田 ※代務医 牧田				
		再診	— — — — —	— — — — —	— — — — —		
泌尿器科	初診・再診	服部 桃井 服部 高士 服部	高士 服部 高士 服部 桃井				
		再診	— — — — —	— — — — —	— — — — —		
産婦人科	初診	竹田 中村浩 玉内 林祥 井本	中村浩 林祥 井本 竹田 — 中村浩				
		再診	— — — — —	— — — — —	— — — — —		
	再診	ハイリスク 外来	— — 中村浩 — —				
耳鼻咽喉科	初診・再診	富田 石田彩 (中村彩) 上田 中田 中村彩	石田彩 富田 中村彩 上田 中田				
		再診	— — — — —	— — — — —	— — — — —		
歯科 口腔外科	初診	河原 小栗 前川 山本圭 小栗 河原	小栗 山本圭 山本圭 小栗 河原	前川 前川 河原 河原 山本圭			
		再診	— — — — —	— — — — —	— — — — —		
緩和ケア内科	初診・再診	— 伊藤浩 — 伊藤浩 —					
女性外来	初診・再診	— — — — —	※松下				

※は非常勤医師です。

- 診療時間 午前9時～(診療科によっては午前8時30分～)
- 休診日 土・日・祝祭日、及び年末年始(12月29日～1月3日)
- ・予約のない方の診察受付時間 初診・再診 午前8時30分～午前11時まで。
- ・救急診療については、救急外来受付(内線2511)まで、お問い合わせ下さい。
- ・各診療科日担当医師については、都合により代診させていただく場合があります。また、異動により担当医師が変更する場合があります。
- ・女性外来の予約は、医療連携室へご連絡下さい。

外来診療の電話予約について

混雑緩和と利便性向上のため外来診療は予約制としております。継続して診療を受けておられる患者さんには、診察時に次回の予約をしていただきます。予約を保留された場合やしばらく受診のない場合は、電話予約のうえご来院ください。

予約専用電話 0572-21-2200

電話予約受付時間 当日の予約(平日) 8:30～11:00
翌日以降の予約(平日) 13:30～16:30

- ※診察券の患者番号をお知らせください。
- ※診察券のない初診患者さんは、電話での予約はできません。
- ※診療機関からの紹介患者さんについては、診療機関から当院医療連携室へご連絡ください。

初診患者さんのFAX・電子メール予約について

- 当院の受診歴のない方でも、次の項目をFAXまたは電子メールで送信していただければ予約できます。
- ①氏名(漢字とフリガナ) ②性別 ③生年月日 ④住所と郵便番号
 - ⑤電話番号(自宅及び連絡先電話番号)
 - ⑥健康保険の種類・保険者名・記号・番号(保険証記載のもの) ⑦受診希望診療科名
 - ⑧受診希望日時 ⑨紹介状(診療情報提供書)の有無

初診予約用FAX 0572-21-1022
初診予約用電子メール yoyaku@tajimi-hospital.jp

電話予約センターから折り返し電話確認をし、登録完了となります。
※FAXや電子メールの折り返しの電話は電話予約センターの受付時間内となります。また、送信されてもすぐにご連絡できない場合があります。万が一電話予約センターから連絡がない場合(休日以外の日で24時間以上ない場合)は、予約専用電話でお知らせください。



環境にやさしい古紙100%の再生紙と植物油インキを使用しています

この広報紙「けんびょういん」は当病院ホームページでもご覧頂けます。
URL <http://www.tajimi-hospital.jp/>